

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|--------------|
| 事業所番号 | 2394100099 |
| 事業所名 | グループホーム百の木東海 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-----------|---|----|
| 重点項目 ① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 |
| | 絵手紙教室の講師ボランティア受け入れ、公民館の作品展参加等のホームとしての関わりの他、散歩中の近隣住民との関わりでは、農作物のお裾分けがあったり、区長と連携をとり、敬老会に参加したりと、利用者が地域の中で生活する環境を作っている。 | ○ |
| 重点項目 ② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 |
| | 2ヶ月に1回の会議開催がある。地域包括支援センターは市の設置する2カ所から参加があり、広く情報を収集している。利用者、家族、地域代表の参加もあり、毎回賑やかな意見交換の場となっている。 | ○ |
| 重点項目 ③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 |
| | 地域包括支援センターの紹介で入居した事例があることから、連携がうかがい知れる。その事例では、利用者が独居のため、地域包括支援センターと密に連携を図って支援に当たっている。運営推進会議参加や困難事例の相談等でも適切に連携している。 | ○ |
| 重点項目 ④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 |
| | 年1回の家族会は、クリスマス会と兼ねて行い、大勢の参加があり、家族同士の交流と意見交換の場所となっている。個別には、面会時や随時の連絡で家族の意向聴取し、運営や支援に反映させている。 | ○ |
| 重点項目 ⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | - | ○ | ○ | ○ | ○ | |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。